

製品安全データシート

株式会社 立花マテリアル

大阪府豊中市服部寿町 5-157-1

TEL 06-6865-1601

FAX 06-6865-1613

整理番号 98I03CBKS

改訂 平成20年 3月

1. 製品名 クリーンバック固化材K S

2. 物質の特定

単一・混合物の区別 : 混合物
主構成物の化学式 : $3\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2$, $2\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2$, $3\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$
又は構造式 $4\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3 \cdot \text{Fe}_2\text{O}_3$, $\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$
官報工事整理番号(化審法) : (1)-194 ケイ酸カルシウム
(9)-2408 アルミン酸カルシウム
--- 鉄アルミン酸カルシウム
(1)-193 硫酸カルシウム
CAS No. : 65997-15-1
国連分類 : 危険性に該当しない。
国連番号 : 危険性に該当しない。

3. 危険有害性の分類

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
有害性 : アルカリ性のため目、皮膚に触れたり、飲み込んだ場合には刺激性がある。

4. 応急処置

目に入った場合 : 清浄な水で最低15分以上洗眼し、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡る様に洗淨する。
皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類、靴等を速やかに脱ぐ。アルカリ性の製品なので、付着した部分を石鹼を用いなくて、微温湯または水を流しながら皮膚の刺激やぬるぬるする感じが無くなるまで洗い続ける。皮膚に異常があれば医師の手当てを受ける。
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動して水でよく口の中をうがいする。必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗淨する。多量の水を飲ませて可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。酸で中和しようとしてはいけない。

5. 火災時の措置

消化方法 : 不燃性につき該当しない。
消火剤 : 不燃性につき該当しない。

6. 漏出時の措置

- ・漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - ・飛散したものは、掃除機等で吸い取って回収する。又はスコップ、箒等で集め、袋等に回収する。
 - ・床面等に付着したものは水で洗浄し、濃厚な洗浄は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策する。
 - ・大規模な漏出の場合は、回収作業には、手袋、長靴、保護眼鏡、防塵マスク等の保護具を着用する。
-

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い : 1) 皮膚に触れないようにゴム手袋等を着用する。
2) 目に入らないように保護眼鏡等を着用する。
3) 換気に注意する。
4) 取り扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。
5) 荷姿が袋の場合、破袋につながるような粗暴な取り扱いをしない。
6) 荷姿がフレコンの場合、安全性への配慮のため正しい取り扱いを行う。

保管 : 1) 乾燥した場所に保管する。
2) 極力粉塵がたたないようにする。

8. 暴露防止措置

管理濃度 : (労働安全衛生法・作業環境評価基準) 2.9 mg/m³
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 第二種粉塵
吸入性粉塵 1 mg/m³
総粉塵 4 mg/m³
ACGIH 総粉塵 10 mg/m³

設備対策 : 室内で取り扱う場合は、管理濃度以下にするため十分な能力を有する換気装置を備える。
多量に扱う場合は集塵機を設置する。

保護具 : 状況に応じて使用する。
呼吸用保護具 : 防塵マスク
保護眼鏡 : 安全眼鏡
保護手袋 : ゴム手袋
保護衣 : 一般作業着

9. 物理／化学物質

外観等 : 灰白色、無臭の微粉末
沸点 : ——— 融点 : 約 1,350°C
比重 : 3.01~3.05 (20°C)
溶解度 : 水に難溶性
揮発性 : なし。
その他 : 爆発性なし、水硬性

1 0. 危険性情報 (安定性・反応性)

引火性 : なし。 発火点 : なし。 爆発限界 : なし。
発火性 : なし。 酸化性 : なし。 可燃性 : なし。
発火点 : なし。
自己反応性・爆発性 : なし。
安定性・反応性 : 水と反応して安定固化する。

1 1. 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

人と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性 (pH 12~13) を呈しそのため目や皮膚を刺激する。また、長時間付着した状況では、皮膚に炎症を起こす可能性がある。多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。

1 2. 環境影響情報

生態系についてのデータなし。
接触水はアルカリ性 (pH 12~13) を呈するから環境に影響を及ぼさないように注意する。

1 3. 廃棄上の注意

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。
洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

1 4. 輸送上の注意

- ・ 粉塵が立たない方法で輸送する。
 - ・ 輸送の際は、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下等により損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 - ・ 湿気、水濡れに注意する。
-

1 5. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
労働安全衛生法 (粉塵障害防止規則)
じん肺法

1 6. その他

有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。
記載事項は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な用途の場合には、この点の御配慮をお願いいたします。

掲載内容の問い合わせ先

会社名 : 株式会社 立花マテリアル
担当部門 : 東京支店
電話番号 : 048-949-2101
ファックス番号 : 048-949-2102